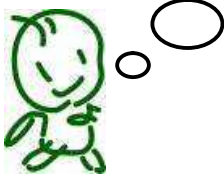


ムーアカデミー通信



Aichi Kaisho Forest Center News Letter Vol.38 Autumn 2017

ベル型で、中をのぞくと紫色の模様があるシックな花を咲かせます。



ツルニンジン

ト ピ ッ ク ス

・海上の森散歩

秋はモミジを見に行こう！

・この人 おもしろい生物をもっと調べたい

愛知工業大学 内田 臣一 教授

秋の実り 海上の里の稲刈り

平成29年10月1日(日)に、体験学習プログラム「里と森の教室」において稲刈りを行う予定です。

当日は、「海上の森の会」のスタッフの指導により、昔ながらの手作業で水稻(もち米:喜寿、うるち米:ゆめまつり)を刈取った後、天日乾燥させるための稲架(はざ)掛けを行います。

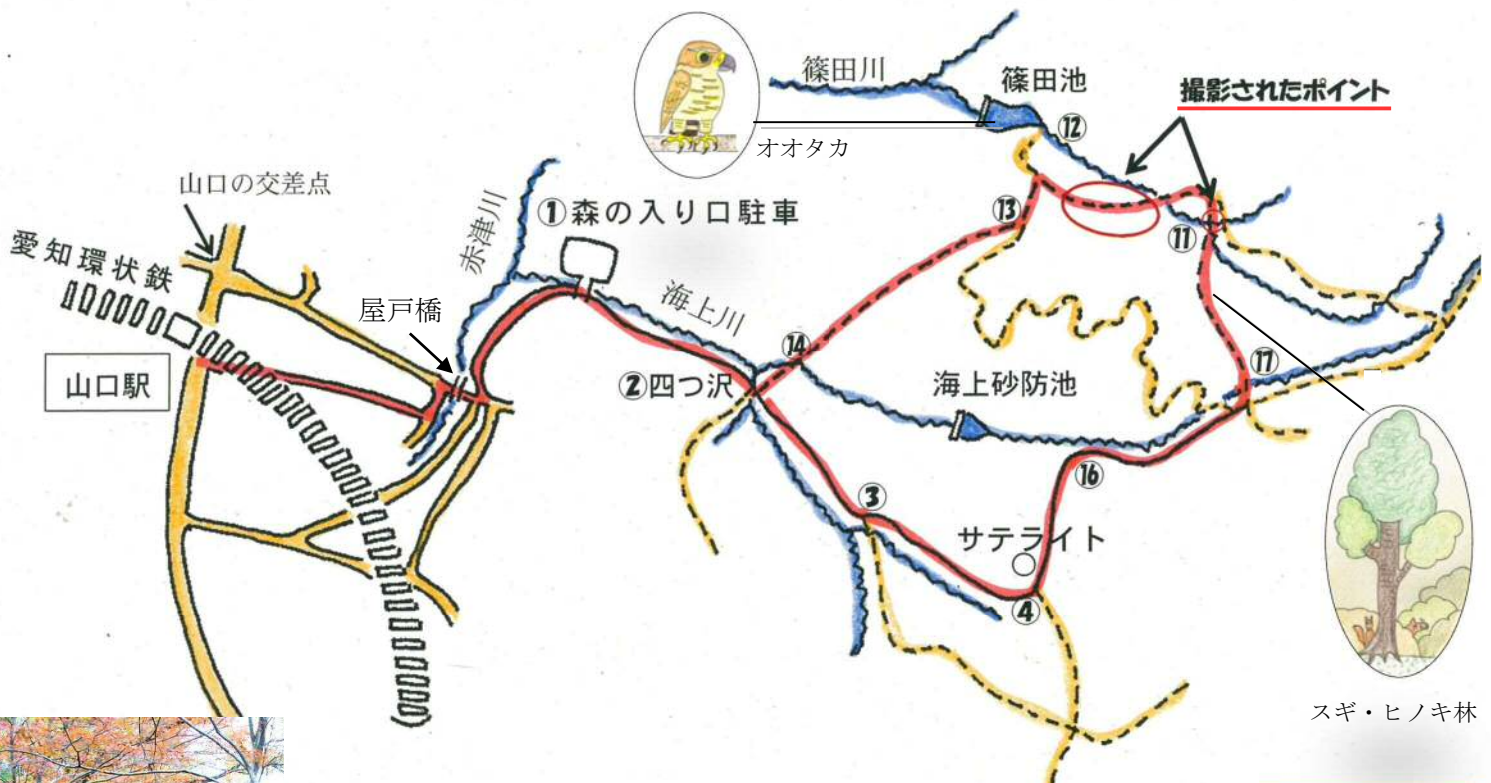
収穫したお米は、収穫感謝祭やどんど焼きなど四季のイベントで活用する他、里と森の教室の参加者にも配布する予定です。



海上の森散歩 秋はモミジを見に行こう！！

秋、海上の森でも美しいモミジを鑑賞することができます。今回は、そんな美しいモミジが楽しめる場所とコースを紹介しましょう。

愛知環状鉄道の山口駅を下車。海上の森へ向かいます（コース表と地図参照）。四つ沢からは山歩きとなります。30分程歩くと道標⑫、左へ向かうと篠田池、右へ向かうとお目当てのモミジの並木です。年によって時期はやや異なりますが、11月の中旬から下旬の頃、モミジの紅葉と光が織りなす一瞬の煌めきともいえる美しい景色に出会えます。写真は11月12日から26日の間に撮影したものです。



《コース表》 半日コース

- 愛知環状鉄道の山口駅を下車→屋戸橋→①森の入り口駐車場→②四つ沢（ここまで徒歩30分）
- ②四つ沢→道標⑭→道標⑬→道標⑫（山歩きで約30分）
- 道標⑫→左へ向かうと篠田池（約5分）
- 道標⑫→右へ向かうとお目当てのポイント（約5分）→道標⑪（1本モミジがある。約5分）
- 道標⑪→道標⑰→道標⑯→サテライト（山歩きで約30分）
- サテライト→道標③→道標②四つ沢→道標①森の入り口駐車場→山口駅（約45分）

この人 おもしろい生物をもっと調べたい

しげかず

愛知工業大学 内田 臣一 教授

私の出身地は神奈川県足柄上郡南足柄町（現南足柄市）という田舎です。子供の頃に夢中だったのは、魚採りと夏のクワガタムシ・カブトムシ採りでした。

そのためか、大きくなって高校では生物部に入り、今の専門の川の虫を調べ始め、東京都立大学理学部生物学科（現 首都大学東京）に入って大学院まで進み、カワゲラという虫を調べて博士号をもらい、その研究でドイツに2年半留学しました。こんな好き勝手なことしていると就職はなかなかできず、滋賀県立琵琶湖博物館に初めて就職できたのは、大学を卒業して11年後でした。

その後、愛知工業大学の教員に転職し、地域の皆さんに案内していただくなどしてここの動植物を知り、もともと好きな魚や虫をあちこちで採ると、海上の森とその周辺の丘陵地は、お宝の動植物の宝庫だ、ということを実感するようになりました。

藪をかき分けクモの巣を払って、このあたりの水の生き物をだいぶ調べましたが、結果を公表できたのは、右に書いたホトケドジョウ*だけです。他にもヒトスジキソトビケラ、シロヒメカワゲラなどの水生昆虫、湿地にすむヒメタイコウチな

ど、全国的には珍しいのに、この辺りにはたくさんいる、という水の生き物が何種類もいます。彼らは、なぜこの辺りにしかいないのか、どの環境条件が生息の決め手なのかなど、調べれば調べるほど興味が湧いてきます。

これからも地域の皆さんに教えてもらいながら、お宝の動植物を調べ続けたいと思いますので、よろしく願いいたします。

* 神谷真吾・内田臣一（2009）丘陵地小河川における簡易魚道を用いたホトケドジョウの遡上経路再生の試み. 愛知工業大学研究報告, 44: 147-154. (ウェブで公開)

<プロフィール>

内田臣一

1957年生まれ、神奈川県出身、瀬戸市若宮町在住
2000年から現在の大学に勤務、野生生物の生態・生物に配慮した工法などを土木工学科の学生に教えている



センター職員随想リレー かたりべのひと言

< 生きもの溢れる楽しき職場 >

森を歩けば、ムササビのとぼけ顔に心が和み、音もなく滑空するフクロウに息をのみます。展示室には様々な生きものが入り込み、慌てて追いかけることも珍しくありません。自然豊かなあいち海上の森センターで働きだし、早くも一年以上が経ちました。聞こえてくる鳥やカエル、虫の声は次々と変わり、先日咲いていたと思った花がもう実をつけています。春夏秋冬の四つの区分で考えがちだった季節が、もっと流れるように、日々変化していくものだと実感し、喜びを感じています。ただ、時にはイノシシやスズメバチ、マダニに遭遇して、ヒヤリとすることも。自然を相手に油断をすれば、大きな事故につながります。森に入る時には気を引き締め、しっかりとした服装で仕事をしたいと思います。(M.K)

調査学習会を開催しました！

平成29年5月と7月に調査学習会（全3回）を開催しました。今年は生き物好きの子供たちが多く参加してくれました。

第1回は「初夏の海上の森 ～花・虫・鳥～」。図鑑や虫かごを持って、青々とした緑の森へさあ出発！不思議な形をした植物、チョウ、トンボ、トカゲに鳥の声。にぎやかな初夏の森は、どんな出会いがあるのかわくわくします。「海上の森の会」の山本征弘先生とスタッフに生き物の名前や特徴などを教えてもらいながら、大人も子供もじっくり自然観察を満喫しました。



第2回は「海上の森のキノコ」。籠を持ってキノコ探しへ！みなさん宝探しのようにならなっていてキノコを探していました。つやつやとしてハマグリのような形をしたヒトクチャタケや蛍光オレンジの色をしたハナガサイグチなど面白いキノコがたくさん採れました。参加者の方々は、「三河キノコの会」の木村修司先生の講義を、「詳しくて勉強になる」と熱心に聞いていました。

第3回は「海上の森の水生物」。大人も子供も「さあ捕るぞ！」と網を片手にやる気満々です。愛知工業大学の内田臣一先生のお手本を真似て、川とビオトープでガサガサ水生物を採集しました。ヤゴ、サワガニ、ヨシノボリなど、自分で捕まえられると嬉しくなります。



調査学習会を終えてから、「もっといろいろ観察して知りたい」「地元こんな自然があるなんて知らなかった」という声をいただき、本学習会が自然に親しむきっかけになったようでした。

海上の森では、季節ごとに自然の中で学べるイベントがたくさんあります。みなさんも是非いろいろ参加してみてください。

平成29年度 11月開催予定 海上の森プログラム

「秋の森でアーティストになろう」

実施日時：11月26日（日）

10:00～15:00

森の楽校（対象：小学生）

10組

森のようちえん（対象：4歳以上園児）

20組

※保護者同伴



お申し込み方法など詳細につきましては、あいち海上の森センターおよび関連施設にて配布される資料またはセンターホームページ（<http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>）をご確認ください。

編集後記

風が心地よく、歩きやすい気候になりました。里では金色に実った稲穂が頭を垂れています。草花の顔ぶれも夏から変わり、静かに秋の訪れを感じます。

編集・発行 あいち海上の森センター（ムーアカデミー）

発行日 平成29年9月28日

〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1

TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841

E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp

URL: <http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>



ホームページQRコード